

環境・安全・健康に対する取り組み

東京エレクトロンは、当社の継続的な成長と社会の持続的な発展のために、環境・安全・健康に対する取り組みを経営上の最重要課題の一つと位置付けています。当社が携わるあらゆる分野で環境負荷を低減すること、また、当社やお客さまの施設内における安全を確実にすることに積極的に取り組んでいます。

■ 環境への取り組み

東京エレクトロンの新環境ビジョン

当社グループは、2008年3月期を基準として環境負荷を2015年3月末までに半減することを目標として、お客さまの工場および自社での取り組みを進めてきましたが、この目標を前倒して達成する目途が立ちました。これを機に、今後、当社グループの環境への取り組みをより多面的かつ広範囲で進めていくために、2012年9月に新しい環境ビジョンを制定しました。

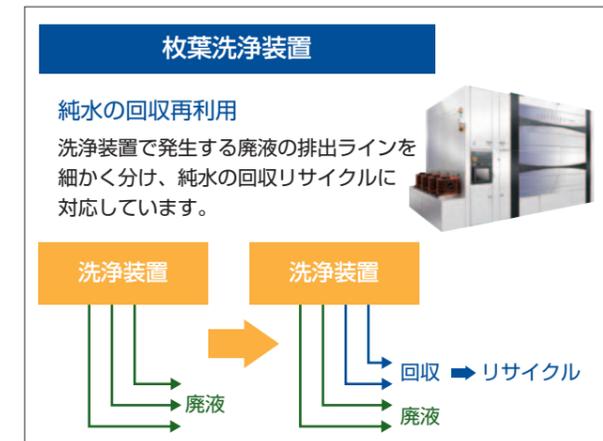
新環境ビジョンに基づく新目標

新しい環境ビジョンの制定とともに、「製品貢献」「事業所」「調達・物流」「環境マネジメント」の4分野における新しい環境目標を設定しました。「製品貢献」では各ビジネスユニット

代表機種でのエネルギー50%低減・製品の環境コンプライアンス、「事業所」では省エネルギーの推進・水使用量削減・廃棄物リサイクル、「調達・物流」ではグリーン調達・モーダルシフトの推進、「環境マネジメント」では主に製造系の各事業所におけるISO 14001の取得・環境教育の実施・生物多様性に関する活動開始などを掲げ、環境活動を推進しています。



製品の環境負荷低減への取り組みの一例



2013年3月期の環境目標の成果

新たな環境ビジョン、環境目標を導入した初年度の成果は以下のとおりです。

I. 製品貢献

- 製品の環境負荷低減
目標である「各ビジネスユニット代表機種で2015年3月期の使用エネルギー量を2008年3月期比で50%低減」に対して、すべての代表機種でエネルギー30%低減を達成しました。
- 製品の環境コンプライアンス
有害物質*削減活動と共に、継続的に適合・対応中です。
*日本：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法
海外：RoHS、REACHなどで規制されている物質

II. 事業所

- 省エネルギーの推進（各地区の原単位1%削減）
目標を設定した国内6事業所の原油換算のエネルギー使用量において、5事業所が目標を達成しました。エネルギー使用総量は前年に比べて6%低減しました。
なお、2013年3月期の当社グループのGHGプロトコルで定めるScope1、2のCO₂排出量は141,007トンでした。



技術交流会



クリーンルームでの安全作業に関する実技訓練

- 水使用量の削減（各地区の原単位を維持）
目標を設定した国内6事業所の6カテゴリー（上水、工業水など）において、5カテゴリーが目標を達成しました。水使用総量は前年に比べて6.4%低減しました。
- 廃棄物リサイクル
目標のリサイクル率97%以上を国内事業所で達成しました。

III. その他

グリーン調達ガイドライン改訂、環境Web教育実施、生物多様性に関するガイドライン策定を実施しました。

2014年3月期はこれらの活動を海外にも展開し、グローバルに継続的な改善活動を推進していきます。

■ 安全・健康への取り組み

当社グループでは、社員だけではなく、お客さま、取引先さまなどの安全と健康を最優先に考え、さまざまな安全活動を行っています。安全性を重視した装置設計や製造工場の環境への配慮など、企業活動のあらゆる側面で「安全・健康」を推進しています。

2013年3月期、人身事故発生件数は前年に比べて20%減少しました。また、重度の人身傷害になりうる事故の撲滅を重点目標に掲げて活動を展開した結果、これらの事故については前年度と同様に2011年3月期の発生件数から半減しました。事故の撲滅を目指し、装置搬入前のクリーンルームの事前確認、現場におけるKY（危険予知）活動、安全巡視、また事故事例を用いた教育などの再発防止活動を継続しています。

当社は、2013年に創立50周年を迎えます。これを機に安全のスローガンである「Safety First」の原点に再度立ち返り、安全文化の醸成とともに、人身事故・災害の撲滅に全社一丸となり取り組んでいきます。

より詳しい活動内容については、「東京エレクトロン環境・社会報告書2013」(2013年9月発行予定)をご覧ください。

東京エレクトロンの環境への取り組み：
<http://www.tel.co.jp/environment/enviro/index.htm>

東京エレクトロンの安全・健康への取り組み：
http://www.tel.co.jp/environment/stakeholder/health_safety/index.htm



環境・社会報告書2012

	内容	中長期目標
製品貢献	製品の環境負荷低減	各ビジネスユニット代表機種で、2015年3月期のエネルギー使用量を2008年3月期比で50%低減
	製品の中国RoHS適合	適合を継続
	各国製品環境コンプライアンス	欧州REACH、各国GHS、電池規制への対応を継続
	製品の自主的欧州RoHS 対応推進	各ビジネスユニット代表機種で欧州RoHS適合部品率98.5%以上を継続
事業所	省エネルギーの推進	前年度比原単位 1%削減（各事業所ごとの原単位を総合評価）
	水使用量の削減	2012年3月期レベルを維持（各事業所ごとの原単位を総合評価）
	廃棄物リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル率97%以上を維持 ● ゼロエミッション継続
調達・物流	グリーン調達	含有化学物質管理の継続実施と調達先の環境マネジメントシステムとの連携強化
	物流における環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ● モーダルシフトを推進 ● モニタリングの継続
環境マネジメント	環境マネジメントシステム	当社グループ製造系事業所でのISO 14001取得および維持管理
	環境教育	当社全グループでの実施
	環境コミュニケーション	環境・社会報告書の継続的発行と充実
	生物多様性	調査検討の上、2014年3月期より活動開始